
口頭発表

[XIII-29-14_15] 管理・環境，畜産経営，動物介在（XIII-午後）

座長:出口 善隆(岩手大農)

2019年3月29日(金) 13:00 ~ 13:20 第XIII会場 (8号館8601講義室)

13:10 ~ 13:20

[XIII29-15] ランドルト環を用いたキュウシュウジカの視力測定

○中村 南美子¹, 末野 結実¹, 富永 輝², 石井 大介², 柳田 大輝², 飯盛 葵², 松元 里志², 片平 清美², 稲留 陽尉³, 塩谷 克典³, 赤井 克己⁴, 大島 一郎¹, 中西 良孝¹, 高山 耕二¹ (1.鹿大農, 2.鹿大農場, 3.鹿児島県環境技術協会, 4.タイガー(株))

【目的】視覚刺激によるシカ害防除に向けた基礎的知見を得ることを目的とし，キュウシュウジカ（以下，シカ）の視力を測定した。【方法】試験は T字迷路型学習装置（4×6 m）内で行われた。ランドルト環（正刺激）および同寸法の円（負刺激）を印刷した2枚のパネル（縦0.8 m×横0.6 m）を同時に提示し，衝立の中心から待機室に向かって設置した3 mの仕切り（高さ1.1 m）の先でランドルト環パネルを選択すると報酬（飼料）が得られることを飼育シカ2頭（推定年齢2歳：オス・メス各1頭）に連合学習させ，両者の識別能力を評価した。1セッションを20試行とし，75%以上の正答率（ χ^2 検定， $p < 0.05$ ）が3セッション連続でみられた場合，提示した視力のランドルト環をシカが識別可能と判定した。【結果】飼育シカは2頭とも視力0.01から学習訓練を開始し，本試験では視力0.02，0.04，0.08および0.16をいずれも20セッション以内に識別出来たものの，視力0.24については識別出来なかった。以上より，シカの視力は0.16であることが明らかとなった。